

News Release

2017年10月20日

日立オートモティブシステムズ株式会社

日立オートモティブシステムズの ADAS ECU が 仕様向上した日産の「ノート」に採用

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)のADAS*1 ECU*2が、2017年9月に仕様向上して販売開始された日産自動車株式会社(以下、日産)の「ノート」に採用されました。

*1 ADAS: Advanced Driver Assistance System(先進運転支援システム)

*2 ECU: Electronic Control Unit(電子制御ユニット)

ADAS ECUは、ACC(Adaptive Cruise Control:車間距離制御)システムや衝突被害軽減ブレーキシステム、車線逸脱警報システムなど、複数の運転支援システムを単一のコントローラーに統合したADASの中核製品です。

日立オートモティブシステムズのADAS ECUは、当社がエンジンコントロールユニット*3の開発で培った制御技術をベースに開発され、2009年に発売された日産の「フーガ」に初めて搭載されて以降、量産実績を重ねています。日産の「ノート」には2013年から採用されています。

*3 エンジンコントロールユニット:エンジンの運転制御を電気的な補助装置を用いて行う際に、それらの部品や装置を総合的に制御するコントローラーのこと。

今回、仕様向上した日産の「ノート」は、高速道路などでの長距離ドライブ時にドライバーの運転負荷を軽減する「インテリジェント クルーズコントロール」や、意図せず走行車線を逸脱しそうな場合に車線内に戻す操作を支援する「インテリジェントLI(車線逸脱防止支援システム)」、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる衝突防止を支援する「踏み間違い衝突防止アシスト」などの先進安全技術が標準またはオプション採用されており、当社はそれらの機能をADAS ECUで支援します。

これら先進安全技術の充実により、仕様向上した日産の「ノート」は、経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している安全運転サポート車(セーフティ・サポートカーS)の最上級区分である「ワイド」に対応しています。

今後も日立オートモティブシステムズは、自動車メーカーにおける先進運転支援システム搭載車の実用化や普及に貢献していきます。



仕様向上した日産の「ノート」

(写真は日産「ノート e-POWER MEDALIST ブラックアロー」)



ADAS ECU

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以 上